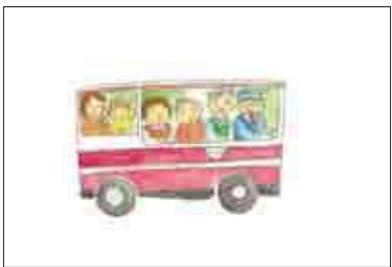




# えがおさいた

絵・文 みのむつみ

つぎとまります えがお  
さいた 絵・文 みの  
むつみ  
赤ちゃんを連れてお母さん  
が、バスを待っています。



すてきなバスのおはなし  
のはじまりはじまり



ハッピータウンのていりゆ  
うじよから まもなくバス  
がはっしゃします。



抜田太一さんは、バスのう  
んてんしゅせん。  
ハッピータウンから 新町  
駅まで  
まいにちなんども いきま  
します。



おきやくさんは三人。  
駅のきつさてんでモーニン  
グをたのしむ藪野福朗おじ  
いちゃん。  
駅むこの病院にかよう板  
地和子おばあちゃん。  
じつはとっても げんきな  
んですけどね。  
駅前の雑貨屋さんにとめて  
いる 川曾正子さん。  
みんなハッピータウンの  
じゅうにんです。



「つぎは さくらざかどお  
り  
さくらざかどおりです。  
こうしゃのさいには  
こうしゃボタンを  
おしてください」  
抜田さんは 小さいころ  
谷の間をはしる赤いバスが  
大すきで  
丘の上からずっとながめて  
いました。  
いつか あのバスの  
うんてんしゅになりたく  
いながら。



「つぎは ささらやま  
ささらやまです—  
—つぎ とまります  
こうしゃのかたは  
バスがかんせんにとまる  
まで  
おまちください—  
赤ちゃんをつれたおかあ  
さんが  
のつてきて  
藪野さんたちの前のせき  
に  
すわりました。



あれれ  
赤ちゃんのほうしが  
かおまですれています。  
おかあさんがおしてあ  
げると 赤ちゃんはニッ  
コリ。  
おかあさんがすいとうを  
出して  
赤ちゃんにのませよう  
すると  
またほうしが まぶかに  
なっていて  
「あれえ、大きすぎるの  
かな？」



「おあさんが すいと  
をかたづけて  
ふと見ると また  
「あれ？なんでえ〜？」  
「おあさんがおすと  
赤ちゃんはすぐさま  
じぶんでほうしを  
ずらしました。  
「なあ〜んや、あやちゃん  
じぶんでやってたんやー」  
赤ちゃんは 大よこびで  
わらいます。



「そっか、いないいないばあ  
やな。」  
藪野さんが ポンとひざをう  
ちました。  
赤ちゃんとおかあさんは  
なんども ほうしをずらしあ  
わらいあっています。  
バスの中に  
えがおがいっぱいさきまし  
た。



新町駅につきました。  
おかあさんがさいごにおりよ  
うと  
まっている  
藪野福朗おじいちゃんが  
「ありがとう。朝から ええも  
ん  
みせてもらったわ。」  
「ほんまに。ホンワカしたわ。」  
と  
「板地和子おばあちゃん。  
また あおっね。」と  
川曾正子さんも  
赤ちゃんに手をふって  
いきます。



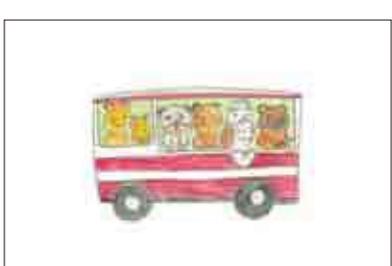
「おあさんがドアまでいくと  
「わたしがバギーをおろしたげる  
わ。」  
と 抜田さんが  
うんてんせきから立ち上がりま  
した。  
赤ちゃんはごきげんで  
抜田さんにも  
いないいないばあを  
してみせます。  
抜田さんは わらいながら  
ほうしをかぶせなおしてあげま  
した。  
そうしないと 三角のお耳がみ  
えてしまうからです。



「ありがとうごさいました。」  
おかあさんはバギーをおして駅に  
むかっています。  
それをおくった抜田さんも  
ほうしをとって 耳のあたりを  
ポリポリかきました。



そして ふたたび バスに  
のりこみ  
エンジンをかけました。  
駅前のバスのりばには  
また たくさんの  
おきやくさんが  
まっているはずで。



ご自由  
さて、次のバスにはどん  
なおはなしが待ってるか  
な？